



2016 年 5 月 6 日

各 位

9 条世界宗教者会議
委員長 小橋孝一

第五回「9 条世界宗教者会議」開催要項および開催の沿革

I. 第五回 9 条世界宗教者会議開催要項

日 程：2016 年 06 月 07 日(火)－9 日(金)

テーマ：「憲法 9 条と世界の平和－危機を平和への転機に」

会 場：真宗大谷派難波別院（南御堂）、大阪市

規 模：60－70 名程度

参加団体：【日本国内】

（参加予定団体）お題目九条の会、真宗大谷派・九条の会、念仏者九条の会、世界の平和を求める京都宗教者連絡会、愛知宗教者九条の会、大阪宗教者 9 条ネットワーク、日本キリスト教協議会、岡山宗教者九条の会、広島宗教者九条の和、日本カトリック正義と平和協議会、公益財団法人庭野平和財団、在日大韓基督教会

【国外】

（参加予定団体）米国合同教会、アメリカ改革派教会、カナダ合同教会、米合同メソジスト教会、合衆国長老教会、WCC 世界教会協議会、英国メソジスト教会、アジアキリスト教協議会、台湾長老教会、フィリピン教会協議会、香港基督教協議会、韓国基督教長老会、韓国教会協議会(NCCK)、その他アジアの諸宗教団体含む

II. 9 条世界宗教者会議の活動の背景ならびに沿革

1. アジアと世界における「9 条」

日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。（日本国憲法 第 9 条）

日本国憲法は、「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起ることのないようにすることを決意し」（憲法前文）、「9 条」をもって戦争を永久に放棄しました。

「9 条」は、アジア・沖縄の人々に対しては、アジア・太平洋戦争における責任とその反省の上に立った不戦の誓いであり、日本が二度と軍事侵略をしないことへの誓約です。また、「9 条」は、日本政府に対して、いかなる戦争もしてはならないことを義務付けた最高法規です。

2. 米軍再編と日本の軍事化

しかし、日本は今日猛スピードで戦争への関与のかたちを変貌させようとしています。それは“戦争への加担、協力”から、自ら“戦争をする国”への変質です。この変貌が米国の“世界的国防態勢の見直し（米軍の再編）”と直結していることは言うまでもありません。東欧から中東、南アジア、東アジアにいたる“不安定な弧”に軍備態勢を確立するために、アジア・太平洋地域では「朝鮮戦争以来最大」（米国防総省）の大規模な米軍再編が実現されています。

ここ数年日本においては、“戦争をする国”への法整備として、短期間に「日の丸・君が代一国旗・国歌法」、「盗聴法」、「有事法制」が制定されました。それに加えて、愛国心教育を軸とする「教育基本法」が改訂され、「9条」をターゲットとした憲法改正の準備が着々と進められています。また、憲法「改正」を目的にした国民投票法案（日本国憲法の改正手続に関する法律案）が、2010年5月18日に施行され、改憲への道が大きく開かれました。2012年には自民党・憲法改正推進本部が「日本国憲法改正草案」を発表、年末には安倍内閣が誕生、与党の衆参両院での多数議席を背景に、今年になって2020年のオリンピックまでに、さらには首相自身の在任中に憲法を改定したいと語るなど、“改憲”と“戦争をする国”への既成事実が積み上げられ、動きが加速しています。

3. 世界の平和を望む宗教者への呼びかけと9条世界宗教者会議

日本におけるこれらの危険な動きに対して宗教者は座視することができません。私たち宗教者は、“殺すな”、“不殺生”の信仰の立場から非暴力による平和の実現を確信し、さらに世界の人々と共に平和憲法9条を活かし、守る協働の具体化をはかる緊急課題に共に取り組もうと決意いたしました。このように、私たちは“非暴力・平和”への動きを推進するため、平和憲法9条を広く国内外に発信しようと「9条アジア宗教者会議」の開催を呼びかけるに至りました。

9条アジア宗教者会議は、第一回会議を2007年11月-12月にアジアや世界における宗教指導者の参加・協力により、在日本韓国YMCAにて開催いたしました。その後、韓国宗教者の熱意と協力のもと、第一回同様にアジアや世界における宗教指導者の参加・協力を得て、第二回会議を2009年12月にソウルで開催いたしました。ソウル会議の席上、参加者からの提案により、第三回会議を2011年10月に沖縄で開催、憲法9条がノーベル平和賞の候補に挙げられた2014年、第四回を「9条世界宗教者会議」と名称を改め東京で開催、前述のような憲法9条並びに平和憲法そのものを改憲しようとする流れに沿って7月10日に参議院選挙が予定されるなど、未だかつてない困難な状況を目前に、内外の心ある人々と協力して、第五回「9条世界宗教者会議」を大阪で開催することにいたしました。

憲法9条の世界的な意義に関する議論はすでに長い歴史がありますが、残念ながら今日、東アジアの国家間の緊張の激化、世界的な経済危機、安保法制の制定にみられる安倍政権の明文改憲に対する積極的な態度など、憲法9条の存在は、厳しい状況にさしかかっていると思います。

しかし、東アジアにおいては、危機はふかまっていますが、幸いにも武力紛争や戦争が発生しておらず、なお平和にチャンスがあると考えべきであります。いずれの危機に対しても、危機を煽るべきではなく、対話と討議によって、信頼と安定をもたらすよう、宗教者は世界のみならず東アジアにおける二国間、多国間の対話と協力の役割を積極的に担うことができると思います。

Ⅲ. プログラム・スケジュール

日 付	時 間	プログラム
6月6日(月)		現地学習参加者(海外)到着
6月7日(火)	08:00	現地学習出発
	11:30	現地学習参加者昼食
	13:00	真宗大谷派難波別院(南御堂)到着 受付開始
	13:30	開会式、オリエンテーション
	14:00	基調講演 SEALDs
	15:30	発題1 高田 健氏(許すな!憲法改悪・市民連絡会事務局、九条の会事務局)
	16:40	ストーリーシェアリング1 (韓国)
	18:00	レセプション(予定)
	6月8日(水)	08:40
08:50		ストーリーシェアリング2
10:30		キム・キガン氏一人芝居 『在日バイタルチェック』
10:40		発題2 大阪9条宗教者ネットワーク 日野範之氏 (真宗大谷派)
11:40		発題3 ドイツ
12:40		昼食
14:00		グループ(言語別)討議 (日本語・韓国語・英語)
16:30		グループ討議の発表
17:30		プログラム終了・共同声明準備
18:00		公開講座・基調講演 高橋哲哉氏(東京大学教授)他2名
6月9日(木)	09:00	朝祷 (大阪9条宗教者ネットワーク)
	09:30	共同声明の討議
	10:50	声明に関する最終確認
	11:00	連帯に向けて ニックメーレ (Pax Christi) 本会議終了
	12:00	昼食
	13:30	記者会見 + (念仏者9条の会集会(北御堂)に合流) /(外国人は市内見学)
	17:00	平和行進参加者集合
	17:30	平和行進
	18:30	解散
6月10日(金)		海外参加者帰国

Ⅳ. 申し込み

別紙申込書を5月10日までにお送りください。

第5回九条世界宗教者会議 申込用紙

2016年06月07 - 09日 (本会議)

参加の仕方 ※ 希望 <u>全て</u> に○をしてください	
◇ 06/07-09	一般参加 -1,000円
◇ 06/07-09	学生参加 (無料)
◇ 06/07	レセプション(調整中)
◇ 06/08 18:00~	シンポジウムのみ参加 - 500円
姓 (ローマ字)	名 (ローマ字)
姓 (漢字)	名 (漢字)
宗教	
宗派	
所属	学生の方は校名、学年も記入ください
住所	
電話	ファックス
電子メール	
食事や健康上の留意	
緊急連絡先	
できれば左記の電子メールにてお申込ください。 article9@ncc-j.org ファックスや郵送も可能です。 九条世界宗教者会議 事務局 担当 廣島規子 〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-16-9 シャンヴィラカテリーナ 5F 庭野平和財団気付 Tel: 03-3226-4371 Fax: 03-3226-1835	

参加費（資料代）についてのご案内

◇ 06/07-09 一般参加（部分参加も可能）	1,000 円
◇ 06/07-09 学生	無料
◇ 06/08(水) 18:00～ シンポジウム のみ参加の方	500 円
<hr/>	
合計（ご記入ください）	円

申込書を送信後、該当する参加費を下記の振込先に前納してください。

振込先

ゆうちょ銀行から振り込む場合

記号 10110

番号 51987411

名義 キュウジョウセカイシュウキョウシャカイギ

他金融機関から振り込む場合

ゆうちょ銀行 早稲田通郵便局

口座名義：九条世界宗教者会議

店名：〇一八（読み ゼロイチハチ）

店番：018

預金種目：普通預金

口座番号：5198741

納入期限：2016年5月27日まで。

*ホテルの手配等、現地学習会、レセプションについて

事務局員の人数が足りませんので、今回の大会では国内参加者の皆様の宿舎の手配はいたしかねます。ーただし、昨今の大阪でのホテル事情を勘案いたしますと、本会議にご参加の皆様には、お早目のホテル等のご予約をお勧めいたします。

*6月7日（午前）の現地学習会は、海外の参加者を優先させていただきますこと、あらかじめお伝えさせていただきます。

*6月7日（夜）のレセプションにつきましては、現地と調整中ですので、決まり次第、改めてご案内申し上げます。参加費は、現地でのお支払いとなります。